

今月号は、7月号・10月号、11月号に続いて取り上げます。  
阿賀野高等学校の活性化について取り上げます。

新潟県議会議員 帆刈 謙治



阿賀野高校 校舎全景

師走を迎える、新しい年号令和の年も残り少なくなつてまいりました。

皆様におかれましては、ますます健勝のこととお慶び申し上げます。

本年4月執行の新潟県議会議員選挙においては、お陰様で8期目の当選を果たすことができました。改めて皆様からのご支援に厚く感謝申し上げます。



小畠校長へのインタビュー風景

先般、県政便りの編集スタッフが阿賀野高校を訪問し、小畠智嗣校長にインタビューし、来年度の総合選択制に関することに加え、今後の阿賀野高校の方向性等について話してもらいました。市民の皆さんにご紹介させていただきます。

今年の県会活動の政策課題として「防災・減災」、「財政再建」、「阿賀野高校の活性化」を重点的に取り組んでまいりました。今月号では、喫緊の課題でもある、「阿賀野高校の活性化」について、ご報告をさせていただきます。

今後の阿賀野高等学校の姿として、2つの事を上げさせていただきます。

1つ目は、生徒が「安全・安心」に学校生活を送ることができる環境を整備することで、中学生保護者から選ばれる学校にしていきたいと考えております。その実現に向けて、生徒一人ひとりに寄り添いながら、個性の伸長を図るとともに、社会的資質を育成するために、今以上に生徒指導の充実に取り組んでまいります。



小畠智嗣 校長

2つ目は、生徒が生き生きと高校生活を送ることが出来るよう、学校行事や部活などの教育活動の活性化を進めるとともに、「総合選択制の高校」の利点を最大限に生かしながら、生徒が希望する進路を実現できる学校にしてまいります。

### ●学習内容の特徴

生徒や学校、地域の実態及び学科の特色を踏まえ、阿賀野高等学校独自の科目(学校選択科目)を3つ用意しました。

1つ目は1年生全員が学習する「自分でデザイン」という科目です。地域の人の講演等に

### 新たな教育方針と学習内容の刷新!

阿賀野高等学校 校長 小畠 智嗣

より職業観や「ミニユニーク」ション力を高め、自己研鑽と将来計画を立てての科目です。

2つ目は2年生全員が学習する「未来デザイン」という科目です。既に実施している「インターネットシップ(職業体験学習)」を一層充実させることで、主体的・探究的な意識と協調性を育むことを目的とする科目です。

3つ目は、3年生の「地域探究コース」選択者が学習する「地域デザイン」という科目です。地元企業と連携を図りながら商品の企画開発等について実践的な学習を進める科目です。

### ●受験を控える中学生の皆さんへ

阿賀野高等学校は平成17年に、創立95年の水原高等学校と創立30年の安田高等学校の伝統を引き継ぎ誕生しました。

令和2年度入学生からは、「総合選択制の高校」として、

さらに進化することになります。

現在の在校生と、来年度の新生で、新たな伝統を作つてみたいと思つています。ぜひ、阿賀野高等学校への入学をお待ちしています。

# 全市民、友と友、手を取り合い、阿賀野市活性!

# 阿賀野市活性!

「阿賀野高校の活性化」  
令和2年4月から  
総合選択制の高校へ

阿賀野高校の活性化については、県教育委員会、阿賀野高校、市、議会等と連携し、「阿賀野高校の活性化に向けての意見交換会」を3回開催するなど、取り組んできました。

この度、令和2年4月から「総合選択制の高校」としてスタートすることになりました。

阿賀野高校は、市にとって唯一の高校として、市の都市機能を支え、教育、経済、地域の活性の分野において、重要な役割を果たしています。阿賀野高校が活性化し、若者が地元に定着することに



## みんなで考え・ 地域で支えよう・ 地元の高校！

よつて、人口減少の歯止めになり、市のあらゆる分野での活性化が期待されます。

市や学校関係者等の努力が

実つて、地元高校としての通学の利便性、地域企業との連携などの優位性を活かし、中学生の進路選択にとって魅力のある学校に進化するための準備が整いました。

この間、学校の学習内容の方を中心に議論を重ねてまいりました。

これからは、新生阿賀野高校を地域で支える活動として、まず、市民の皆様から新生阿賀野高校を理解していただき、さうに、阿賀野高校を地域で支える活動への熱意に高めていきたいと願っています。

この活動は、決して一過性ではなく、長期的な視野に立つて地域全体で支える体制の構築が必要かと考えています。

ぜひとも、この趣旨に賛同し、地域で支える活動に参加していただけるよう、市民、団体等の皆さんにご理解とご協力をお願い申上げます。

## 地域と共に歩む高校に！

阿賀野高等学校 P.T.A.会長 本間 由香里

来年度からの総合選択制

に向けて、阿賀野高校では一生懸命行動を起こされて

います。

また、令和2年度の新入生が居心地よく高校生活を送れるよう環境も整えて下さっています。

また、困ったことや心配な

ことがあります。先生をつかま

ります。

通常の年間行事や授業、受

験生や就職する生徒への対

応もこなしつつ、先生方に

とっては当たり前のことかも

されませんが、それを見て

いる私にとっては頭が下がる

思いでいっぱいです。

そんな中、公立校教員の働

き方改革の一環で、改正教

職員給与特別措置法が先日、

参院本会議で与党などの賛成

多数で可決、成立しました。

これは、阿賀野高校だけでも

なく市内の小中学校にも

言えることなのですが、教員の数、介助員の数がとても少ない現状で、不安に感じる保護者も多くいらっしゃる

はずです。

新潟県HPに「新潟県活動の在り方に係る方針」とい

うことで、部活動の地域との協働・融合の例として、村上

市と上越市との総合型地域ス

ポーツクラブが外部指導を行っている事例が投稿され

ています。

これが、先生をつかま

ることがあれば、先生をつかま

ることがあげられる校内居場所

取らなくて、相談室の予約を

立てあげられる校内居場所

カフェの記事も、先日、新潟

日報に掲載されました。

これからは学校だけでは

なかなか手が回らないこと

が一層多くなりそうですね。

地域で対応できる仕組み

作りが必要なのではないの

でしょうか。

阿賀野市が  
元気になる、提案・  
意見をお寄せ下さい。

特定の思想・主義の主張や、他者への非難や批判ではなく、あくまでも建設的な内容に限ります。文字数は400字以内です。

ほかりけんじ事務所

〒959-2221 阿賀野市保田 737-2  
TEL:68-5441 FAX:68-5515

<http://www.hokaken.jp/>

◎「ほかりけんじ・県政便り」は、新聞折り込みでお届けします。